

販売店様へ お手数でも必ずご記入の上、お客様へお渡しください。

TEL(03) 3255-1117 FAX(03) 3255-1137 <http://www.kk-custom.co.jp/>

このたびは当社のフレキシブルクランプメータをお求めいただきまして誠にありがとうございました。ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みいただき正しくご使用下さい。なお、お読みいただきました後もこの取扱説明書を大切に保管してください。

備考)オーバーレンジの時は「OL」が表示されます。

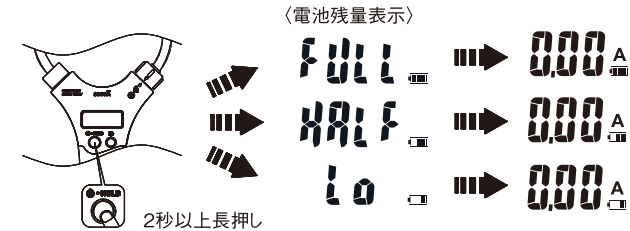
6. 測定を始める前に

開梱したらすぐにキズや変色など外観上の異常や付属品に欠品がないかを確認してください。
万一、不具合がありましたら購入された販売店までご連絡ください。
本製品のご購入時は、電池が添付されていますので、「12-1.電池の交換」をご参照の上、電池を入れて動作確認を行なってください。
付属の電池は動作確認用ですので、測定を行う際は必ず新しい電池と交換してください。

7. 電源を入れる/切る

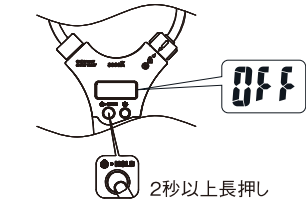
7-1. 電源を入れる (ON)

- ① **⏻・HOLD** (電源/データホールドボタン)を2秒以上長押しする。
"ピー"とビーブ音が鳴り、表示部に電池残量が表示される。
- ② 表示部が「0.00 A」に切り替わる。
測定ができます。



7-2. 電源を切る (OFF)

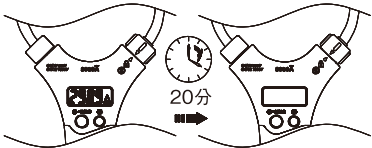
- ① **⏻・HOLD** (電源/データホールドボタン)を2秒以上長押しする。
"ピッ"とビーブ音が鳴り、表示部に「OFF」が表示された後に電源が切れる。



(備考) 無操作状態が約20分間継続されるとオートパワーオフにより電源が自動的に切れます。

8. オートパワーオフ

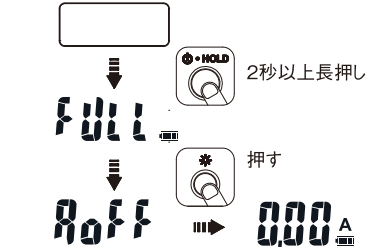
電源ボタンの切り忘れによる電池の消耗を防ぐ機能です。
本器をご購入の際はオートパワーオフが有効になっており、無操作状態が約20分間継続されるとオートパワーオフにより電源が自動的に切れます。
電源が切れる際はビーブ音が鳴動し、表示部に「OFF」が表示されます。



8-1. オートパワーオフを無効にする場合

電源がOFFの状態において。

- ① **⏻・HOLD** (電源/データホールドボタン)を2秒以上長押しする。
"ピー"とビーブ音が鳴り、表示部に電池残量が表示される。
- ② 表示部に電池残量が表示されている間に **✳** (バックライトボタン) を表示部に「AoFF」が表示されるまで押す。
オートパワーオフが無効になります。
- ③ **✳** (バックライトボタン) を放す。



8-2. オートパワーオフを無効から有効に変更する場合

一度、電源を切り再度、電源を入れる。

表示部に電池残量が表示されている間に **✳** (バックライトボタン) を押さない。

⚠ 注意

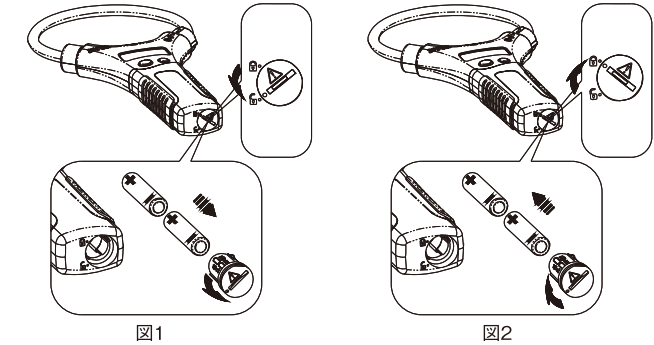
オートパワーオフおよび、電源を切った後も微小な電流を消費しています。

12. メンテナンス

12-1. 電池の交換

表示部の「」アイコンが点滅したら電池の残量が少ない合図です。

- ① **⏻・HOLD** (電源/データホールドボタン)を2秒以上長押しして電源を切ってから電池の交換を行ってください。
表示部になにも表示されない場合、電池が本器を駆動するに十分な電圧に達していませんので電池の交換を行ってください。



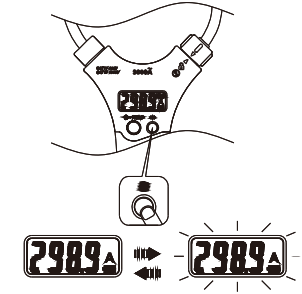
- ① 電池キャップを外す。(図1)
電池キャップを反時計まわりに回すと電池キャップが外れます。
- ② 電池を入れる。(図2)
電池2個を極性を確かめて収納部に入れます。
古い電池がある場合は、電池を収納部から取り出します。(図1)
- ③ 電池キャップを閉める。(図2)
電池キャップを時計まわりに回すと電池キャップが閉まります。

⚠ 注意

・電池の交換後は電池キャップがしっかりと閉められているか十分確認してからご使用ください。

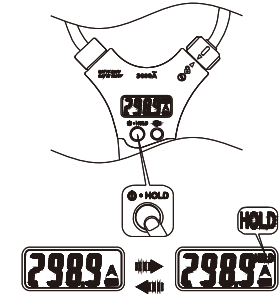
9. バックライト

✳ (バックライトボタン)を押下すると、表示部のバックライトが点灯、消灯します。



10. データホールド

⏻・HOLD (電源/データホールドボタン)を押下した時点の測定値が表示部に保持されます。
データホールド中は表示部に「**HOLD**」アイコンが点灯し、入力する電流値が変化しても表示部の値は変化しません。
データホールドを解除する場合は再度、**⏻・HOLD** (電源/データホールドボタン)を押下してください。
表示部の「**HOLD**」アイコンが消灯し、入力する電流値に応じて表示部の値が変化します。



12-2. 日常のお手入れ

本器に付着した汚れは乾いた柔らかい布で拭き取ってください。

汚れがひどい時は薄い中性洗剤溶液を浸し、固く絞った柔らかい布で拭き、その後乾いた柔らかい布で拭き取ってください。

⚠ 注意

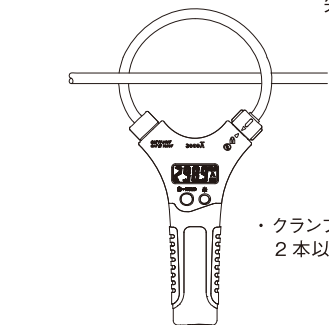
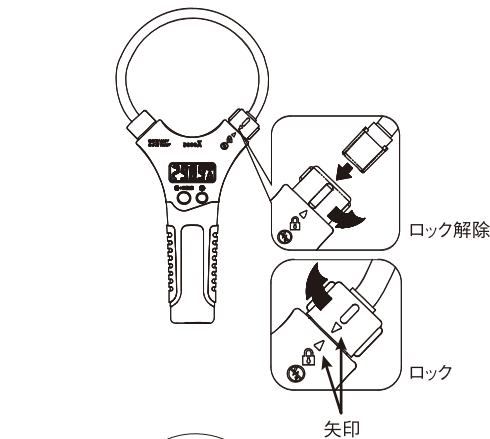
研磨剤やアルコール、シンナー、ベンジンなどの揮発性溶液は表面仕上げを痛めたり、機能の低下や故障の原因となりますので、絶対に使用しないでください。

12-3. 校正

正確な測定を行うため、定期的に年1回の校正を行うことをお薦めします。

11. 測定のしかた

- ① クランプセンサコイル結合部のロックを解除し、クランプセンサコイルを外す。
- ② 被測定導体を1本はさみ、クランプセンサコイルをクランプセンサコイル結合部に入れ、矢印を合わせてロックする。
被測定導体がクランプセンサコイルの中心になるように設置します。
クランプセンサコイル結合部がきちんとロックされていることを確認します。



⚠ 注意

- ・クランプセンサコイルに通す被測定導体は1本とする。
2本以上同時に通した場合、正しい測定ができません。

⚠ 注意

- ・クランプセンサコイル結合部に過度の力を加えない。
クランプセンサコイルが外れたり、クランプセンサコイル、クランプセンサコイル結合部が破損する恐れがあります。
- ・狭い場所などでクランプセンサコイルを鋭角に曲げて使う場合は短時間で測定を完了する。
長時間に渡り鋭角に曲げられた状態が保持されると、クランプセンサコイルを覆うゴムやクランプセンサコイルが破損する恐れがあります。
- ・測定中は下図の矢印より上方(表示部より上方)に触れないこと。
正しい測定ができないことがあります。

